



おだ学園保育園通信



【第1回6月・第2回10月第三者委員会を実施しました】

保護者と保育園のコミュニケーションの活性化を目指して、園には苦情解決の仕組みとして第三者委員会が下記のように体制が整っています。

目 的	要望等への適切な対応により、利用者の理解と満足感を高めることを目的とします。
	利用者(園児及び保護者)個人の権利を擁護すると共に、利用者が保育サービスを適切に利用することができるよう支援することを目的とします。
	納得のいかないことについては、円滑・円満な解決に努めることを目的とします。
解決の体制	<p>解決のための園内体制について保育園に関する要望等を解決するため、おだ学園保育園では園長をその責任者とし、主任保育士を受付担当職員と決めました。保育園に関する要望等は担当職員へ、お申し出下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 解決責任者 園長 鈴木陽子 ◎ 受付担当者 主任 青柳あつこ
	<p>解決のための第三者委員について直接保育園に言い難いことや、何度言っても解決しないようなことを解決するため、第三者委員として次の3名の方に依頼しました。第三者委員の方々は保育園への申し出に際し立ち会いをお願いする等ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山氏 (玉川大学・國學院大学附属幼児教育専門学校歴任) ・藤原氏 (民生委員) ・村松氏 (小学校等地域コーディネーター)

- ・今回の委員会の内容は、①今年度の園の取り組みの報告。②1976年の幼稚園設立当初から法人の専門学校として調理校があったことから給食室を併設し子どもの教育としての調理体験を実施してきた。その歴史をたどりながら今のおだ学園保育園の幼児達が体験している畑の活動は食育体験に繋がりととても大切であることのアドバイスもいただきました。

【エントランスに図鑑を揃えました】

- ・日々の絵本は、2Fにある永山図書館をフルに活用させていただいています。でも事典はボリュームもあるので見たい時、調べたいときに手元で活用できるように0歳～の図鑑を用意しました。お時間がある時に是非お子さんと一緒にご利用ください。